



# いっしょに考えていこう～BCP～ 感染症 その10

守る!逃げる!判断して行動する!

10月の新型コロナ感染症対応に関して、ご心配おかけしました。ご協力に感謝いたします。

11月の感染症対策委員会にて、振り返りを行いました。

・一人目の感染者が発覚し、各部署で分担し、初動対応がスムーズだったと思います。各自慌てず冷静に対処できたと思います。特に感染フロア、感染対応居室の対応をされる職員は、気持ちを律して(気合い)も必要だったと思います。感染拡大しなくて胸をなでおろしました。

・今後も対応マニュアルの確認や、共有をよりスムーズに行えるよう、定期的なシミュレーションを行い、必要物品の場所を職員全員が知っておくようにしたいです。

・ホワイトゾーンでのフォローとしては、職員が感染フロアを行ったり来たりしないよう、勤務の相談を職員同士で細かに相談し合うことができ、対応にあられたことが良かったと思えました。職員の中で「ん?」と疑問に思った点をお互いに出し合え解決していくことができ、臨機応変に対応できたことがもっとも良かったことだと思います。

・事前に感染の居室に入る勤務帯を分けていたのは良かったと思う。役割分担がわかりやすかった。これまで感染対応に深く関わるのが無く、ガウンテクニック等に不安があったのですが、感染することなく済んだので少し自信が付きました。

・陽性者が出た際、物品の準備が早く良かった。感染対応中のPトイレ使用の際、バケツ内にミニシートを使うことで対応しやすかったです。

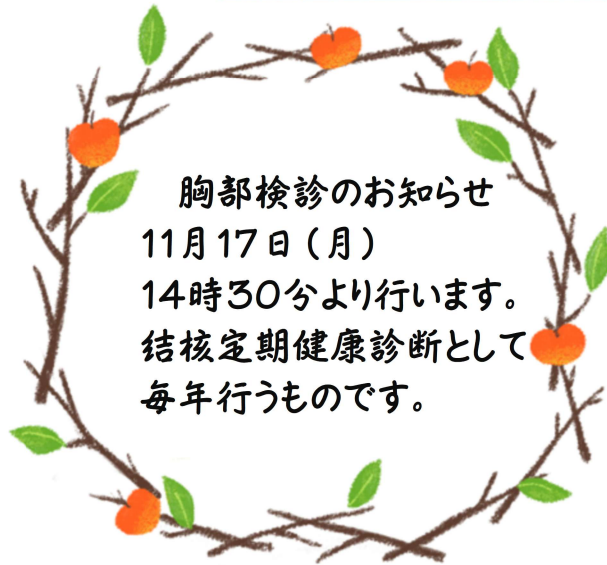
・ゴミをその都度ビニールに包んで封印できたので大変良い発想だと思えました。(今までは広島市指定のゴミ袋(大きめ)を使用)

・感染利用者さんへのマスク装着を徹底。(外してしまうのは仕方ないとして)

・対面での食事介助は感染リスクがあるという意識づけを。

まとめ 小滝則子(感染症対策委員長)

十一月十一日は『秋の御膳』でした。手前の煮物は「ソフト食」で、歯茎でもつぶせて飲み込みやすいものになっています。



## 胸部検診のお知らせ

11月17日(月)

14時30分より行います。

結核定期健康診断として毎年行うものです。



『十三夜の月見御膳』手作りのカードは立体的になっていましたよ

研修報告 『令和七年度 高齢者・障害者虐待対応に関する研修会』  
報告者 阿部三千代 (虐待防止委員長)  
講師 県立広島病院 総務課管理係 医療ソーシャルワーカー 森 晶啓氏  
テーマ「虐待」という言葉でつなぐ支援とは  
県病院で受け入れたネグレクトに当てはまる虐待事案の患者さんとその家族に関する検討、グループディスカッションと発表でした。事例は、当事者たちに虐待という意識が生まれにくい、長年の親子関係や生活習慣の末に結果としてネグレクトという虐待に当てはまったものだと感じました。患者さんや介助者となる娘さんのサポートをしっかりとあてたいのに「虐待」という言葉を使うとなかなか進まない回復期医療機関への転院や四角四面の行政の対応。サポートを受けるべき人、サポートをしてあげたい人がいるのにどうしていいかわからなくなる、あるいは結果に至るまで時間がかかる現実。虐待に全力で向き合おうと思っても、机上の空論で作られたルールに当てはまらなければ助けられないこともある。それでも頑張つて向き合おうと思うと、個人の感情や労力を使い果たし疲弊してしまう。根本はサポートを受けないと生きていく事が困難な人たちの受入れをもっとスムーズにする為のルールの改定、行政、政治が考えていくべき課題だと思えました。

競技者は日頃介護のお仕事をされているプロワーカー。10日前に渡された課題を読み込み、入浴、排せつ、食事介助を披露してくれました。



10月28日、広島駅前地下広場、ビックフロント広島にて広島市老人福祉施設主催第8回ひろしまケアコンテストが開催されました。



## ありがとうございます

平川様、中西様(岸様)、麻生様、檜垣様、池田様、定岡様、秋森様、河内様、佐古様(加藤様)、佐々木様(坂本様)、草加様、林様、青谷様、広島県間税会連合会女性部様、歳秀様、紀本様



ケアコンテストにて、職員のオフ紹介コーナーで和光園ユーチューバーのタケタカチャンネルチームがステージを披露しました!

あ と が き  
手と手がふれあうような交流はまだできませんが、子供たちの姿や声を感じるような機会がもてるようにになりました。  
「こどもパワー」は偉大です。次はクリスマスかな?  
竹

秋の火災予防運動11月9日～11月15日  
11月9日は「119番の日」

『平和都市 みんなでつくる 防火の輪』